

Syllabus Id	syl-102450		
Subject Id	sub-102900120		
更新履歴	070309新規、100316改定		
授業科目名	学外実習Ⅲ Off-Campus Training Ⅲ		
担当教員名	鄭 萬溶 JEONG ManYong		
対象クラス	電子制御工学科4年生		
単位数	1履修単位		
必修/選択	選択		
開講時期	集中講義		
授業区分	基礎・専門工学系		
授業形態	実習		
実施場所	受け入れる企業が指定する場所		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
本学科の教育目標「C.工学的解析・分析力、およびそれらを創造的に統合する能力」、「D.論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力」、および「E..与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」を養うために、企業など学外において専門的な作業を実施する。			
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)			
受け入れ先企業の業務形態と業務内容に関連した専門的な知識			
学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	◎	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
学習・教育目標の達成度検査			
実施報告書、作業日誌、口頭試問による			
授業目標			
1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。			
2. 企業における業務の遂行方法(開発手順、作業手順、文書管理など)について説明できる。			
3. 一日の作業内容を的確に報告できる。			
授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	受け入れ先との協議による。		
第2回			
第3回			
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

課題 作業日誌 実習報告書	
評価方法と基準 評価方法: (1)口頭試問により社会人としてのコミュニケーションマナーを評価する。 (2)実習報告書の内容とそれに関する口頭試問により、企業における業務の遂行方法を説明できるか評価する。 (3)作業日誌により、一日の作業報告が的確にできるかを評価する。 評価基準: 実習報告書(70%)、口頭試問(20%)、自己評価(10%)	
教科書等	受入企業などの指定による
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。